

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23202	栄養カウンセリング実習 Nutrition counseling practice	熊崎 稔子	専門	1	必修	2年 後期

科目の概要

栄養士として、人々の生涯にわたる健康を保持・増進し、生活習慣病の予防に向けた提案をするにあたり、対象者の健康状態や食行動が望ましくなるように変容させ、QOL(生活の質・人生の質)の向上に貢献できるようにする。そのために、「栄養カウンセリング」で得たカウンセリングの知識や技術の理論を、実践の場で生かされる技術を修得する。様々なケースを設定し、ロールプレイを取り入れてカウンセリングを行い、その後、互いに評価し、技術の向上を図る。

学修内容	到達目標
① 受容と傾聴を実践することで身につけ、さらにクライアントの気持ちを理解する。	① 受容と傾聴を実践することで身につけ、さらにクライアントの気持ちを理解することができる。
② 生活習慣病の病態を理解したうえで、栄養カウンセリングのトレーニングを行う。	② 生活習慣病の病態を理解したうえで、適切な栄養カウンセリングができるようにする。
③ 様々なケースを設定してカウンセリングを計画・実施し、他の学生から評価を受け、技術の向上を図る。	③ 様々なケースを設定してカウンセリングを計画・実施し、他の学生から評価を受け、技術の向上に努めることができる。
④ 栄養報告書を作成する力を養う。	④ 栄養報告書を作成できるようにする。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	カウンセリングに関する知識や技術について、教科書・文献などで、自己学修することができる。 カウンセリング技術の修得のために自ら練習をすることができる。 日常生活において、場面に応じて正しい言葉遣いに心がける。
	働きかけ力	
	実行力	対象者に適したカウンセリングの手順や方法を考え、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	決められた時間内で、カウンセリングを的確に実施することができる。 計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる。
	創造力	対象者を理解し、対象者の心理的な距離を縮めるために、いろいろな方向からアプローチすることができる。
チームで働く力	発信力	支援計画に従って、対象者に寄り添った支援となるよう、解りやすい支援の仕方(声の大きさ、スピード等)を工夫することができる。
	傾聴力	対象者の相談内容を聴き取り、即座に正しくまとめ、相談内容を対象者に確認することができる。 他のカウンセリング(演習)を見て、批判ではなく、よりよいものになるように自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、私語、授業中の途中退室、授業に無関係な行動など、授業進行に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進められるようにする。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「フローチャートで学ぶ栄養教育論実習」橘ゆかり・森美奈子編著、建帛社(栄養教育実習で使用)
「N ブックス 栄養指導論」相川りゑ子編著、建帛社(栄養教育で使用)
「応用栄養学 ライフステージからみた人間栄養学」森基子・玉川和子著、医歯薬出版(ライフステージ栄養で使用)

参考文献:授業の中で適宜資料を配布(文献・新聞記事等)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連 :栄養学、食品学、食事療法論、栄養教育
関連する資格 :栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
<p>栄養や病態の知識をもとに、上手く相手の行動変容を導く技術が必要となる。そのために基礎知識を、わかりやすい言葉で説明できるようにしておくこと。</p> <p>健康関連の情報を新聞や専門雑誌などから収集し、スクラップする習慣をつけるとよい。</p>	<p>授業内容を理解するための努力をし、分からないことは質問すること。</p> <p>配布資料が多いため、この科目専用のファイル(A4)を用意すること。</p> <p>社会人基礎力の規律性を守ること。</p>

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養アセスメントに必要な知識の定着の確認 ・栄養カウンセリングに必要な病態の基礎知識の確認 ・栄養報告書が作成できるか否か
		②	✓	
		③	✓	
		④		
レポート	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングのトレーニングをし、トレーニングによる“気づき”をまとめる。 ・設定したケースに対して、カウンセリング担当とクライアント担当なり、有効な技法、改善点を話し合い、レポートにまとめる。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した7ケースに対して、栄養アセスメントができ、クライアントに寄り添った支援ができていないか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<p>「主体性」カウンセリングに関する知識について、自己学修ができること。 日常生活の中で、カウンセリングの受容や共感が繰り返されていることに気づく感性を養うこと。</p> <p>「実行力」いつまでに支援計画、媒体等を完了するかの手順や方法を考え、確実に目標に向かって進めることができる。</p> <p>「課題発見力」「創造力」対象者の身体的・栄養的な特徴を理解したうえで課題を見出し、生活の質の向上につながるカウンセリングのあり方を考えることができる。</p> <p>「計画力」支援計画、資料等のレポートや、実際の支援等において、期日、時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて進めることができる。</p> <p>「発信力」質問に対する回答や、自分の意見を聞き手に分かるように発することができること。</p> <p>「傾聴力」話を聞く時は、うなずきやあいづちをしながら聞くこと</p> <p>「規律性」遅刻、私語、授業中の途中退室、授業に無関係な行動など、授業進行に支障をきたす行動をしないこと。 グループ活動への非協力的な態度は減点(5点)する。</p>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他		①		<ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の授業に出席し、レポートを提出した学生のみ評価の対象とする。ただし、授業に出席することは当たり前のことなので、出席点は加味しない。
		②		
		③		
		④		
総合評価割合	100			

【達成目標の目安】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) 及び C(可) の基準
<p>S(秀)は、カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴を理解し、支援計画に沿って栄養カウンセリングができ、さらに栄養報告書をポイントをおさえて作成することができる。</p> <p>A(優)は、カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴を理解し、支援計画に沿って栄養カウンセリングができ、栄養報告書を作成することができる。</p>	<p>B(良)は、カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴を理解し、栄養カウンセリングができ、栄養報告書をおおむね作成できる。</p> <p>C(可)は、カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴を理解し、おおむね栄養カウンセリングができ、栄養報告書もおおむね作成できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	◆オリエンテーション ◆栄養アセスメント 身体測定の実際とその評価の仕方	講義・演習後、フィードバックする	特殊な身体計測や推定算出式について説明できる。	〈復習〉栄養ケア・マネジメントの定義やプロセスについてまとめる。 〈予習〉血液検査の項目と正常値をまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	◆栄養アセスメント 血液検査の検査項目とその意味	講義・演習後、フィードバックする	各検査項目の意味、食事の影響を説明できる。	〈復習〉血液検査の項目と正常値を覚える。 〈予習〉糖尿病の病態と食事について資料が作成できるように調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	◆糖尿病の病態と食事の影響(1) 糖尿病の病態と食事の影響について、カウンセリングで利用できる資料作成と発表原稿作成をする。	小テストをし、解答・解説、講義・演習後、フィードバックする	糖尿病の病態と食事の影響を説明できる。	〈復習〉糖尿病の病態と食事の影響についての資料と原稿を見直し、修正する。 〈予習〉糖尿病の病態と食事の影響について発表できるように練習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	◆糖尿病の病態と食事の影響(2) 糖尿病の病態と食事の影響についてプレゼンテーションする。	プレゼンテーション後、フィードバックする	糖尿病の病態と食事の影響を詳しく説明できる。	〈復習〉プレゼンテーションの評価をし、“分かりやすいプレゼンテーション・資料”のポイントをまとめる。 〈予習〉栄養報告書の記録方法について「栄養教育論実習」P14～17をまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	◆糖尿病患者の栄養カウンセリング(1) 糖尿病のサンプル症例を用いて栄養カウンセリングの計画と栄養報告書の作成をする。	小テストをし、解答・解説、講義・演習後、フィードバックする	糖尿病の栄養報告書を作成することができる。	〈復習〉栄養報告書の作成について見直す。 〈予習〉糖尿病の栄養カウンセリングの練習をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	◆糖尿病患者の栄養カウンセリング(2) 5週で計画した栄養カウンセリングをプレゼンテーションする。	プレゼンテーション後、フィードバックする	効果的な糖尿病の栄養カウンセリングができる。	〈復習〉糖尿病の効果的な栄養カウンセリングについてまとめる。 〈予習〉高血圧症の病態と食事について資料が作成できるように調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	◆高血圧症の病態と食事の影響(1) 高血圧の病態と食事の影響について、カウンセリングで利用できる資料作成と発表原稿作成をする。	講義・演習後、フィードバックする	高血圧症の病態と食事の影響を説明できる。	〈復習〉高血圧症の病態と食事の影響についての資料と原稿を見直し、修正する。 〈予習〉高血圧症の病態と食事の影響について発表できるように練習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	◆高血圧症の病態と食事の影響(2) 高血圧症の病態と食事の影響についてプレゼンテーションする。	プレゼンテーション後、フィードバックする	高血圧症の病態と食事の影響を説明できる。	〈復習〉プレゼンテーションの評価をし、“分かりやすいプレゼンテーション・資料”のポイントをまとめる。 〈予習〉栄養報告書の記録方法について「栄養教育論実習」P14～17と糖尿病の栄養報告書を見直す。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	◆高血圧症患者の栄養カウンセリング(1) 高血圧症のサンプル症例を用いて栄養カウンセリングの計画と栄養報告書の作成をする。	小テストをし、解答・解説、講義・演習後、フィードバックする	高血圧症の栄養報告書を作成することができる。	<復習>栄養報告書の作成について見直す。 <予習>高血圧症の栄養カウンセリングの練習をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	◆高血圧症患者の栄養カウンセリング(2) 9週で計画した栄養カウンセリングをプレゼンテーションする。	プレゼンテーション後、フィードバックする	効果的な高血圧症の栄養カウンセリングができる。	<復習>高血圧症の効果的な栄養カウンセリングについてまとめる。 <予習>脂質異常症の病態と食事について資料が作成できるように調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	◆脂質異常症の病態と食事の影響(1) 脂質異常症の病態と食事の影響について、カウンセリングで使用できる資料作成と発表原稿作成をする。	講義・演習後、フィードバックする	脂質異常症の栄養報告書を作成することができる。	<復習>栄養報告書の作成について見直す。 <予習>脂質異常症の栄養カウンセリングの練習をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	◆脂質異常症の病態と食事の影響(2) 脂質異常症の病態と食事の影響についてプレゼンテーションする。	プレゼンテーション後、フィードバックする	効果的な脂質異常症の栄養カウンセリングができる。	<復習>脂質異常症の効果的な栄養カウンセリングについてまとめる。 <予習>脂質異常症の病態と食事について資料が作成できるように調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	◆脂質異常症患者の栄養カウンセリング(1) 高血圧症のサンプル症例を用いて栄養カウンセリングの計画と栄養報告書の作成をする。	講義・演習後、フィードバックする	脂質異常症の病態と食事の影響を説明できる。	<復習>脂質異常症の食事の影響についての資料と原稿を見直し、修正する。 <予習>脂質異常症の病態と食事の影響について発表できるように練習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	◆脂質異常症患者の栄養カウンセリング(2) 13週で計画した栄養カウンセリングをプレゼンテーションする。	講義・演習後、フィードバックする	効果的な脂質異常症の栄養カウンセリングができる。	<復習>脂質異常症の効果的な栄養カウンセリングについてまとめる。 病名を伏せてサンプル症例を渡す。その栄養報告書を作成する。 <予習>14週に渡したサンプル症例について、報告できるようにする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	◆栄養カウンセリングのまとめ 14週で配布したサンプル症例の報告および解説。 半期の授業内容で、身についた技術、自身の行動変容などの成果を発表。	小テストをし、解答・解説、講義・演習後、フィードバックする	学生同士で栄養カウンセリングの評価ができる。	<復習>半期の授業内容を復習する。「栄養カウンセリング」「栄養カウンセリング実習」の総まとめをする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

